

都市再生整備計画 事後評価シート

川之江中心拠点地区
(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

令和3年3月

愛媛県四国中央市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	四国中央市	地区名	川之江中心拠点地区(都市再構築戦略事業)			面積	130ha					
交付期間	平成27年度～令和元年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	3,944百万円	国費率	0.5							
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(川之江神ノ木線、破砂子1号線)、広場(にぎわい広場、ポケットパーク、駅前広場)、地域防災施設(防災備蓄倉庫(地域交流センター内)、耐震性貯水槽、マンホールトイレ、かまどベンチ)、観光情報案内板、緑化施設等(城山公園進入路、井地川之江港線、港通西新町線、破砂子馬場線、病院西線、川之江大豊線、川之江山田井線、駅通栄町線、港通栄町線)、高次都市施設(地域交流センター)、中心拠点誘導施設(博物館(収蔵館新規建設)、幼保連携型認定こども園)、既存建造物活用事業(博物館整備)											
		提案事業	なし											
		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	駐車場(栄町第1駐車場)	当該駐車場は1階部分が月極駐車場、2階部分が月極駐車場と一般利用者の無料駐車場となっており、計画では解体し月極の平面駐車場とする方針であったが、街のにぎわい創出のため、既存施設を補修し無料駐車場を残すこととしたため、本事業での整備を取りやめとした。			影響なし							
		基幹事業	緑化施設等(川之江停車場線、破砂子西新町線)	上水道の耐震化計画があるため、本事業での整備を取りやめ、上水道整備に合わせた事業実施を検討。			影響あり(指標1の目標値を下方修正)							
		基幹事業	地域生活基盤施設(耐震性貯水槽(防災広場内))	整備地区は地下水が豊富であることから、井戸を掘り、手押しポンプを設置し生活用水を確保することで、耐震性貯水槽の機能を果たせることから、本事業での整備は行わないこととした。			影響なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(塩谷小山線)	まちなかを回遊する上で危険箇所となっている本路線は、通学路にもなっているため早急に整備し、回遊性向上と通学路の安全を確保するため、事業に追加。			影響あり(指標1の目標値を上方修正)							
		基幹事業	地域生活基盤施設(川之江高校西交差点ポケットパーク)	地域の歴史・文化資源を活かした回遊機能強化と賑わい再生の促進を図るため事業を追加。			影響あり(指標1の道路、歩道に対する不満度の減少に寄与)							
		基幹事業	地域生活基盤施設(マンホールトイレ(地域交流センター広場内))	にぎわい広場内において防災機能を有する倉庫、マンホールトイレを設置する計画であったが、防災機能については地域交流センターに集約することで更に機能強化が図れるため、事業を追加。			影響なし							
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
	変更	なし		なし		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	道路、歩道に対する不満度	%	51.5	H24	38.7	R1	-	34.5	○	あり なし	道路の改築や美化により、安心して歩ける歩行者空間の確保が図られ、道路・歩道に対する不満度の改善に繋がった。	-	
	指標2	かわのえ高原ふるさと館の年間利用延べ人数	人/年	7,682	H25	8,500	R1	-	4,765	×	あり なし	令和2年7月開館のため、開館以降の実績値を基に年間利用数を推計した。開館の遅れや企画の中止等、新型コロナウイルス感染症の流行による影響から目標値には及ばなかった。	令和4年4月頃	
	指標3	地域交流センターの年間利用延べ人数	人/年	39,575	H25	53,300	R1	-	55,520	○	あり なし	公共施設の機能の集約化により利便性が良くなり利用者数の増加に繋がった。	-	
	指標4	にぎわい広場を使用したイベント数	件/年	11	H28	20	R1	-	14	△	あり なし	令和2年8月供用開始のため、供用開始後の実績値を基に、年間イベント回数を推計した。にぎわい広場の整備により、イベント開催の増加が伺える。	令和4年4月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	公園・緑地に対する不満度	%	45.7	H24				28.9			にぎわい広場やポケットパークの整備により公園・緑地の不満度の改善に寄与した。	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の道路網の整備により、歩行者・自転車の通行に安全安心度が増した。 中心市街地の道路網の整備、博物館、地域交流センターの開設、にぎわい広場、ポケットパーク、防災広場の整備により、都市機能の向上が図られつつある。 認定こども園の整備による子育て支援施設の充実や利便性の向上により、まちなか居住の形成に寄与している。 防災広場や地域交流センターの防災機能の充実により、中心市街地の防災性の向上が図られつつある。 													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況										今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										-	
	住民参加プロセス	・川之江地区整備計画推進会議 ・にぎわい広場整備に関する意見交換会 ・川之江地区まちづくりに関する視察研修	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										● ・推進会議、意見交換会等計画検討から事業実施に至るまで、住民と行政とを繋ぐ組織として大きな効果を果たした。今後のまちづくりに際しても適切な住民参加促進に努める。	
持続的なまちづくり体制の構築	・川之江地区まちづくりサポーター	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										● ・今後は地区住民等による主体的な取組みを推進する。		

様式2-2 地区の概要

川之江中心拠点地区(愛媛県四国中央市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標:『歩いてつなぐ健康文化都市かわのえ』 目標1:地域の歴史・文化資源を活かした回遊機能強化と賑わい再生 目標2:都市機能集約による交流と賑わいの創出 目標3:誰もが安心して健やかに暮らせる生活環境づくり	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	従前標準	目標値	目標標準	評価値	目標標準
	道路、歩道に関する不満足度	単位: %	51.5	H24	38.7	R1	34.5	R2
	かわのえ高原ふるさと館の年間利用延べ人数	単位: 人/年	7,682	H25	8,500	R1	4,765	R2
	地域交流センターの年間利用延べ人数	単位: 人/年	39,575	H25	53,300	R1	55,520	R1
	にぎわい広場を使用したイベント数	単位: 件/年	11	H28	20	R1	14	R2

【14】市道港通東町線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【13】市道駅通東町線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【12】市道川之江山田井線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【11】奥道川之江大倉線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【10】市道病院西線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【9】市道破砂子馬場線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【7】市道港通西新町線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【6】市道井地川之江港線
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【4】城山公園進入路
基幹事業: 高質空間形成施設
道路の美装化

【15】市道坂谷小山線
基幹事業: 道路
道路の拡幅(交差点改良)

【効果促進事業】
●オープニングイベント
川之江にぎわい広場

川之江にぎわい広場
基幹事業: 広場

川之江こども園
(幼保連携型認定こども園)
基幹事業: 中心拠点誘導施設

川之江こども園園庭
(幼保連携型認定こども園)
基幹事業: 中心拠点誘導施設

川之江体育館防災広場
基幹事業: 地域防災施設

川之江体育館防災広場
効果促進事業: 防災広場整備

川之江ふれあい交流センター広場
基幹事業: 高次都市施設

川之江ふれあい交流センター
基幹事業: 高次都市施設

歴史考古博物館・郷原ミュージアム
基幹事業: 中心拠点誘導施設
既存建造物活用事業

【関連事業】
●川之江小学校
放課後児童クラブ建設事業

無人町ポケットパーク
基幹事業: ポケットパーク

【3】遊憩路(防災広場)
効果促進事業: 遊憩路整備

駅前広場修景改善
基幹事業: 駅前広場

【2】市道破砂子1号線
基幹事業: 道路
道路の拡幅

川高西ポケットパーク
基幹事業: ポケットパーク

【1】市道川之江神ノ木線
基幹事業: 道路
道路の拡幅

整備取りやめ路線
(5) 県道川之江停車場線
(8) 市道破砂子西新町線
(取りやめ理由)
上水道の耐震化更新計画があるため、本事業での整備を取りやめ
上水道整備に合わせた事業実施を検討

観光情報案内版 一円
○ 案内サイン

凡 例
■ 基幹事業
■ 効果促進事業
□ 関連事業

0 500m

まちの課題 の変化	<ul style="list-style-type: none"> 歴史博物館の整備により、地域資源を活かしたまちづくりが行われた。 道路の美装化、バリアフリー化が行われ、安心して歩ける歩行者空間の確保が行われた。 歴史考古博物館、地域交流センターの整備により、公共施設の機能集約が行われた。 地域交流センターの整備により、多世代交流の場が確保された。認定こども園や放課後児童クラブの整備により、子育て支援施策の充実が図られつつある。 安心して歩ける歩行者空間の確保と情報案内版の整備により、来訪者や市民の回遊性向上が図られつつある。 地域防災施設が確保された防災広場の整備や地域交流センター内の地域防災機能の充実により、安全安心な生活環境づくりが図られつつある。
今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かしたまちづくり、安心して歩ける歩行者空間の確保、公共施設の機能集約、子育て支援施策の充実、回遊性の向上、安全安心な生活環境づくりが行われ、中心市街地としてのふさわしい条件づくりが整うなかで、まちなか居住の誘引や活力、賑わいの再生に重点を置きまちづくりを推進させることが重要となる。 引き続き、住民との協働による川之江中心地区のまちづくりの推進を図っていく。